

SDGsの取り組み

現状・達成率を数値化

雪ヶ谷化学

雪ヶ谷化学工業（東 発、発売などで達成率
 京都市川区、坂本昇社 は32・2%となった。
 長）は、国連の持続可 廃棄物削減では、ス
 能な開発目標（SDG ポンジの廃材を燃料と
 S）に資する自社の取 して再利用している
 り組みの進捗を報告 が、20年にサマーリ
 する「YUKIGAYA サイクルボイラーの連
 Aサステナブルリポー 大きい」と話す。

「2020」を作成し、ウェブ上に公開した。「二酸化炭素（CO₂）排出の実質ゼロ」など2030年までに達成を目指す五つの目標を設定。現状や達成率を初めて数値化した。

同社は30年までに「スコア1、2のCO₂排出量実質ゼロに」「再生可能原材料比を50%に」「全工程での廃棄物を50%に」「女性管理職50%に」「日本で流通する天然ゴムを100%フェアトレード」を目標に設定。達成に向け若手社員など十数人によるプロジェクトを立ち上げた。

CO₂排出量は展示会出展時に排出するCO₂に関して、カーボンオフセット（炭素相殺）の実施などで19年の約892トンから20年は約736トンに削減。現時点の目標達成率は9・8%。再生可能原材料の採用では、石油由来原料を10～90%削減できるスポンジの開

用ルールの見直しで廃材の燃料化率を約3%向上。他の取り組みも併せ、達成率は78・8%となった。坂本社長は「社員が連携しボトムアップで実行したことや、コストダウンにつながった点などSDGsに取り組む意義は大きい」と話す。

環境省は持続可能な社会の実現に向けた暮らしを支える活動を表彰する「第9回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、環境大臣賞の最優秀賞にアイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区）を選んだ。同社は施設の屋根に太陽光パネルを設置することで自然環境に負荷をかけるない再生可能エネルギー

グッドライフアワード

環境大臣賞にアイ・グリッド

表彰する「第9回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、環境大臣賞の最優秀賞にアイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区）を選んだ。同社は施設の屋根に太陽光パネルを設置することで自然環境に負荷をかけるない再生可能エネルギー

同社は30年までに「スコア1、2のCO₂排出量実質ゼロに」「再生可能原材料比を50%に」「全工程での廃棄物を50%に」「女性管理職50%に」「日本で流通する天然ゴムを100%フェアトレード」を目標に設定。達成に向け若手社員など十数人によるプロジェクトを立ち上げた。

CO₂排出量は展示会出展時に排出するCO₂に関して、カーボンオフセット（炭素相殺）の実施などで19年の約892トンから20年は約736トンに削減。現時点の目標達成率は9・8%。再生可能原材料の採用では、石油由来原料を10～90%削減できるスポンジの開

用ルールの見直しで廃材の燃料化率を約3%向上。他の取り組みも併せ、達成率は78・8%となった。坂本社長は「社員が連携しボトムアップで実行したことや、コストダウンにつながった点などSDGsに取り組む意義は大きい」と話す。

環境省は持続可能な社会の実現に向けた暮らしを支える活動を表彰する「第9回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、環境大臣賞の最優秀賞にアイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区）を選んだ。同社は施設の屋根に太陽光パネルを設置することで自然環境に負荷をかけるない再生可能エネルギー

同社は30年までに「スコア1、2のCO₂排出量実質ゼロに」「再生可能原材料比を50%に」「全工程での廃棄物を50%に」「女性管理職50%に」「日本で流通する天然ゴムを100%フェアトレード」を目標に設定。達成に向け若手社員など十数人によるプロジェクトを立ち上げた。

CO₂排出量は展示会出展時に排出するCO₂に関して、カーボンオフセット（炭素相殺）の実施などで19年の約892トンから20年は約736トンに削減。現時点の目標達成率は9・8%。再生可能原材料の採用では、石油由来原料を10～90%削減できるスポンジの開

用ルールの見直しで廃材の燃料化率を約3%向上。他の取り組みも併せ、達成率は78・8%となった。坂本社長は「社員が連携しボトムアップで実行したことや、コストダウンにつながった点などSDGsに取り組む意義は大きい」と話す。

環境省は持続可能な社会の実現に向けた暮らしを支える活動を表彰する「第9回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、環境大臣賞の最優秀賞にアイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区）を選んだ。同社は施設の屋根に太陽光パネルを設置することで自然環境に負荷をかけるない再生可能エネルギー

同社は30年までに「スコア1、2のCO₂排出量実質ゼロに」「再生可能原材料比を50%に」「全工程での廃棄物を50%に」「女性管理職50%に」「日本で流通する天然ゴムを100%フェアトレード」を目標に設定。達成に向け若手社員など十数人によるプロジェクトを立ち上げた。

CO₂排出量は展示会出展時に排出するCO₂に関して、カーボンオフセット（炭素相殺）の実施などで19年の約892トンから20年は約736トンに削減。現時点の目標達成率は9・8%。再生可能原材料の採用では、石油由来原料を10～90%削減できるスポンジの開

用ルールの見直しで廃材の燃料化率を約3%向上。他の取り組みも併せ、達成率は78・8%となった。坂本社長は「社員が連携しボトムアップで実行したことや、コストダウンにつながった点などSDGsに取り組む意義は大きい」と話す。

環境省は持続可能な社会の実現に向けた暮らしを支える活動を表彰する「第9回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、環境大臣賞の最優秀賞にアイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区）を選んだ。同社は施設の屋根に太陽光パネルを設置することで自然環境に負荷をかけるない再生可能エネルギー

同社は30年までに「スコア1、2のCO₂排出量実質ゼロに」「再生可能原材料比を50%に」「全工程での廃棄物を50%に」「女性管理職50%に」「日本で流通する天然ゴムを100%フェアトレード」を目標に設定。達成に向け若手社員など十数人によるプロジェクトを立ち上げた。

CO₂排出量は展示会出展時に排出するCO₂に関して、カーボンオフセット（炭素相殺）の実施などで19年の約892トンから20年は約736トンに削減。現時点の目標達成率は9・8%。再生可能原材料の採用では、石油由来原料を10～90%削減できるスポンジの開

用ルールの見直しで廃材の燃料化率を約3%向上。他の取り組みも併せ、達成率は78・8%となった。坂本社長は「社員が連携しボトムアップで実行したことや、コストダウンにつながった点などSDGsに取り組む意義は大きい」と話す。

環境省は持続可能な社会の実現に向けた暮らしを支える活動を表彰する「第9回グッドライフアワード」の受賞者を決定し、環境大臣賞の最優秀賞にアイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区）を選んだ。同社は施設の屋根に太陽光パネルを設置することで自然環境に負荷をかけるない再生可能エネルギー